

<平成25年3月期第3四半期決算参考資料>(連結)

	前第3四半期累計実績 平成24年3月期 (A)	当第3四半期累計実績 平成25年3月期 (B)	通期予想 平成25年3月期 (C)	前回(平成24年10月)予想 平成25年3月期 (D)	前期実績 平成24年3月期 (E)
売上高	12,931 億円	12,826 億円	18,100 億円	18,300 億円	18,073 億円
営業利益	385 億円	409 億円	640 億円	800 億円	637 億円
<利益率>	< 3.0% >	< 3.2% >	< 3.5% >	< 4.4% >	< 3.5% >
		(増益要因) 台数・車種構成等 79億円 資材費等コスト低減 310億円	(増益要因) 台数・車種構成等 160億円 資材費等コスト低減 390億円	(増益要因) 台数・車種構成等 280億円 資材費等コスト低減 390億円	
		(減益要因) 為替 ▲78億円 販売費用 ▲62億円 その他 ▲225億円	(減益要因) 為替 ▲60億円 販売費用 ▲150億円 その他 ▲337億円	(減益要因) 為替 ▲140億円 販売費用 ▲100億円 その他 ▲267億円	
		対前年同期 変動計(B-A) 24億円	対前期 変動計(C-E) 3億円	対前期 変動計(D-E) 163億円	
経常利益	289 億円	524 億円	620 億円	620 億円	609 億円
<利益率>	< 2.2% >	< 4.1% >	< 3.4% >	< 3.4% >	< 3.4% >
四半期(当期)純利益	136 億円	173 億円	130 億円	130 億円	239 億円
<利益率>	< 1.1% >	< 1.3% >	< 0.7% >	< 0.7% >	< 1.3% >
為替 (売上レート)	79 円/US\$ 113 円/ユーロ	80 円/US\$ 101 円/ユーロ	81 円/US\$程度 104 円/ユーロ程度 (第4四半期: 86円US\$) (第4四半期: 115円ユーロ)	79 円/US\$程度 100 円/ユーロ程度 (下期: 78円US\$) (下期: 100円ユーロ)	79 円/US\$ 111 円/ユーロ
設備投資 (計上ベース)	429 億円	324 億円	700 億円	1,090 億円	710 億円
減価償却費	402 億円	365 億円	670 億円	670 億円	534 億円
研究開発費	395 億円	452 億円	670 億円	690 億円	550 億円
有利子負債残高	3,620 億円	3,170 億円			3,481 億円
総資産	12,481 億円	13,024 億円			13,213 億円
売上台数	769 千台	804 千台	1,121 千台	1,128 千台	1,072 千台
国内	132 千台	125 千台	184 千台	193 千台	184 千台
海外	637 千台	679 千台	937 千台	935 千台	888 千台
生産台数*	旧カウント 822 764 千台	824 千台			旧カウント 1,129 1,051 千台
国内	432 432 千台	362 千台			586 586 千台
海外	390 332 千台	462 千台			543 465 千台
業績評価		減収、増益			

*平成25年3月期より新カウントを採用し、新カウントの生産台数には中国での現地ブランド車を除いています。

三菱自動車、2012年度第3四半期決算及び通期業績見通しを発表

三菱自動車は本日、2012年度(2013年3月期)第3四半期決算及び2012年度通期の業績見通しを発表しました。

1. 業績概況

2012年度第3四半期累計期間(2012年4月1日～12月31日)の売上高は、卸売台数は増加したものの、為替の円高の影響を受け、前年同期比105億円(1%)減の12,826億円となりました。

営業利益は、為替の円高影響のほか、新型車投入に伴う広告宣伝費等販売費の増加や、昨年12月に発動した軽自動車リコールなど市場措置費用の増加はあったものの、台数・車種構成等の改善に加え、資材費等コスト低減の寄与もあり、前年同期比24億円(6%)増の409億円となりました。

経常利益は前年同期比235億円(81%)増の524億円となりました。また当期利益については、欧州生産子会社の株式売却に伴う特別損失を計上したこともあり、前年同期比37億円(27%)増の173億円となりました。

2. 販売台数

2012年度第3四半期累計期間の販売台数は、前年同期比31千台(4%)減の724千台となりました。

日本では、8月の新型『ミラージュ』に続き、10月には新型『アウトランダー』を発売したものの、軽自動車の販売が振るわず、前年同期比11千台(11%)減の92千台となりました。

北米は、7月に現地生産を開始した『アウトランダースポーツ』(日本名:『RVR』)の米国での販売が前年を上回ったものの、前年度に生産を終了した米国市場向けモデル『エクリプス』、『エクリプススパイダー』、『エンデバー』の販売が減少したことなどから、前年同期比20千台(24%)減の62千台となりました。

欧州は、7月に発売した新型『アウトランダー』の投入もありロシアでの販売が堅調に推移した一方で、総需要が低迷している西欧地域での販売が前年を大きく下回る結果となったことから、地域全体としては前年同期比39千台(22%)減の135千台となりました。

アジア及びその他の地域については、北アジアなどでの減少はあったものの、3月に『ミラージュ』を発売し販売を大幅に増加させているタイをはじめとしたアセアン地域の好調に支えられ、前年同期比39千台(10%)増の435千台となりました。

3. 2012年度業績見通し

本第3四半期累計期間の実績、及び、直近の経済状況や市場動向等を踏まえ、2012年度通期(2012年4月1日～2013年3月31日)の販売台数見通し及び業績見通しについて検討を行った結果、販売台数、売上高及び営業利益について、以下のとおり修正を行うこととしました。

- 販売台数: 1,010千台(対2012年10月30日公表計画値34千台減)
- 売上高: 18,100億円(同200億円減)
- 営業利益: 640億円(同160億円減)
- 経常利益: 620億円(同±0)
- 当期利益: 130億円(同±0)

以上

【お問い合わせ先】

広報部 企業広報担当:地引、村田

企業広報代表 03-6852-4274

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

2012年度第3四半期業績の概況

**OUTLANDER
PHEV**



三菱自動車工業株式会社

2013年2月5日

円高・欧州債務問題長期化など厳しい事業環境ながらも コスト低減で打ち返し増益

(単位：億円,千台)

	FY11 3Q ('11/4-12) 実績①	FY12 3Q ('12/4-12) 実績②	差 ② - ①
売上高	12,931	12,826	-105
営業利益	385	409	+24
経常利益	289	524	+235
当期利益	136	173	+37
販売台数 (小売)	755	724	-31
販売台数 (卸売)	769	804	+35
うち OEM台数等	(59)	(62)	(+3)

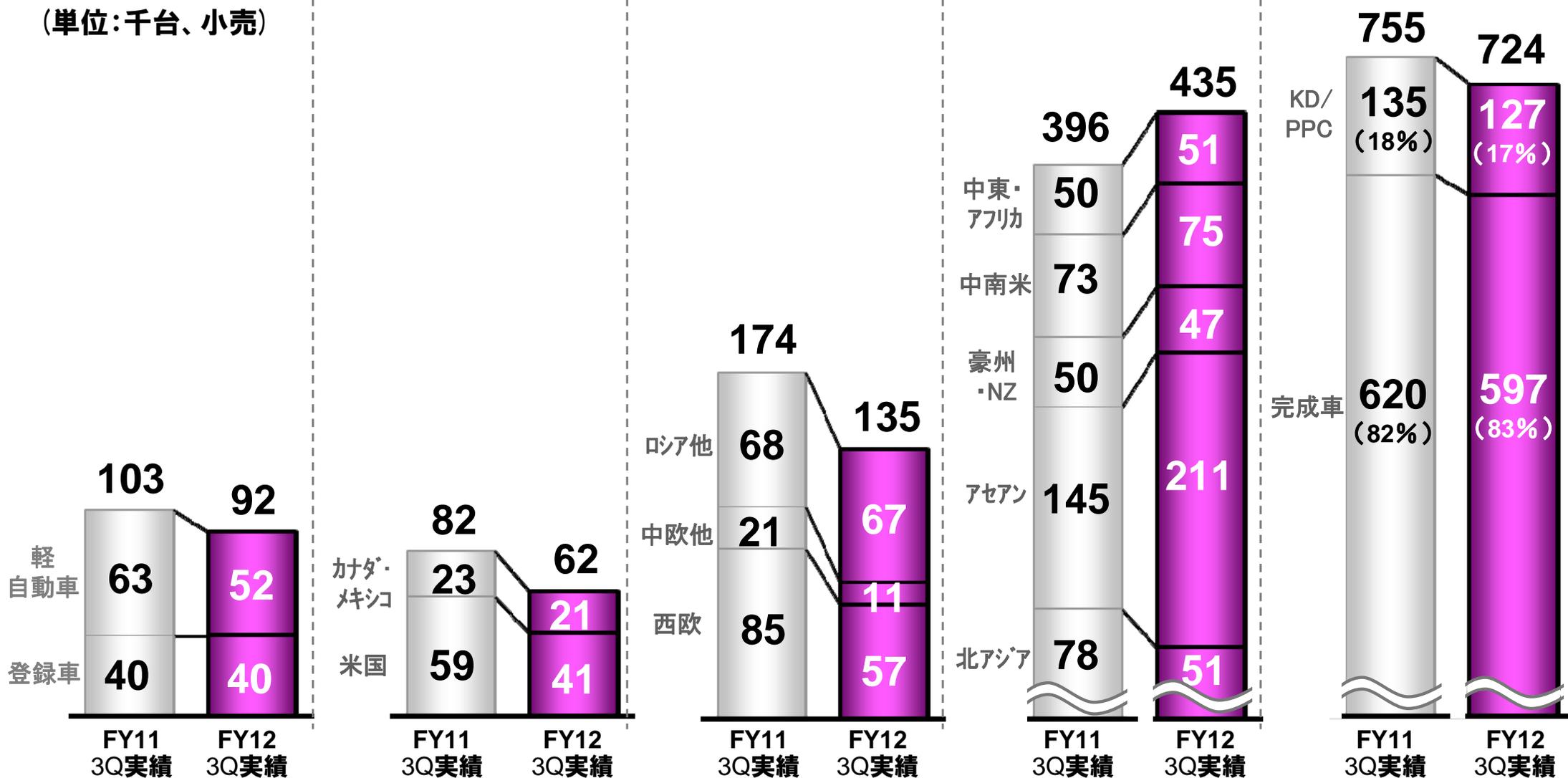
※注) 12年度第3四半期販売台数実績は速報値。

2012年度第3四半期 地域別販売台数実績【9ヵ月累計、前年同期対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
----	----	----	-----------	----

《前年同期対比増減》				
- 11 (- 11%)	- 20 (- 24%)	- 39 (- 22%)	+ 39 (+ 10%)	- 31 (- 4%)

(単位:千台、小売)



※注) 12年度第3四半期販売台数実績は速報値。

営業利益増減分析【9ヶ月累計、前年同期対比】

(単位：億円)

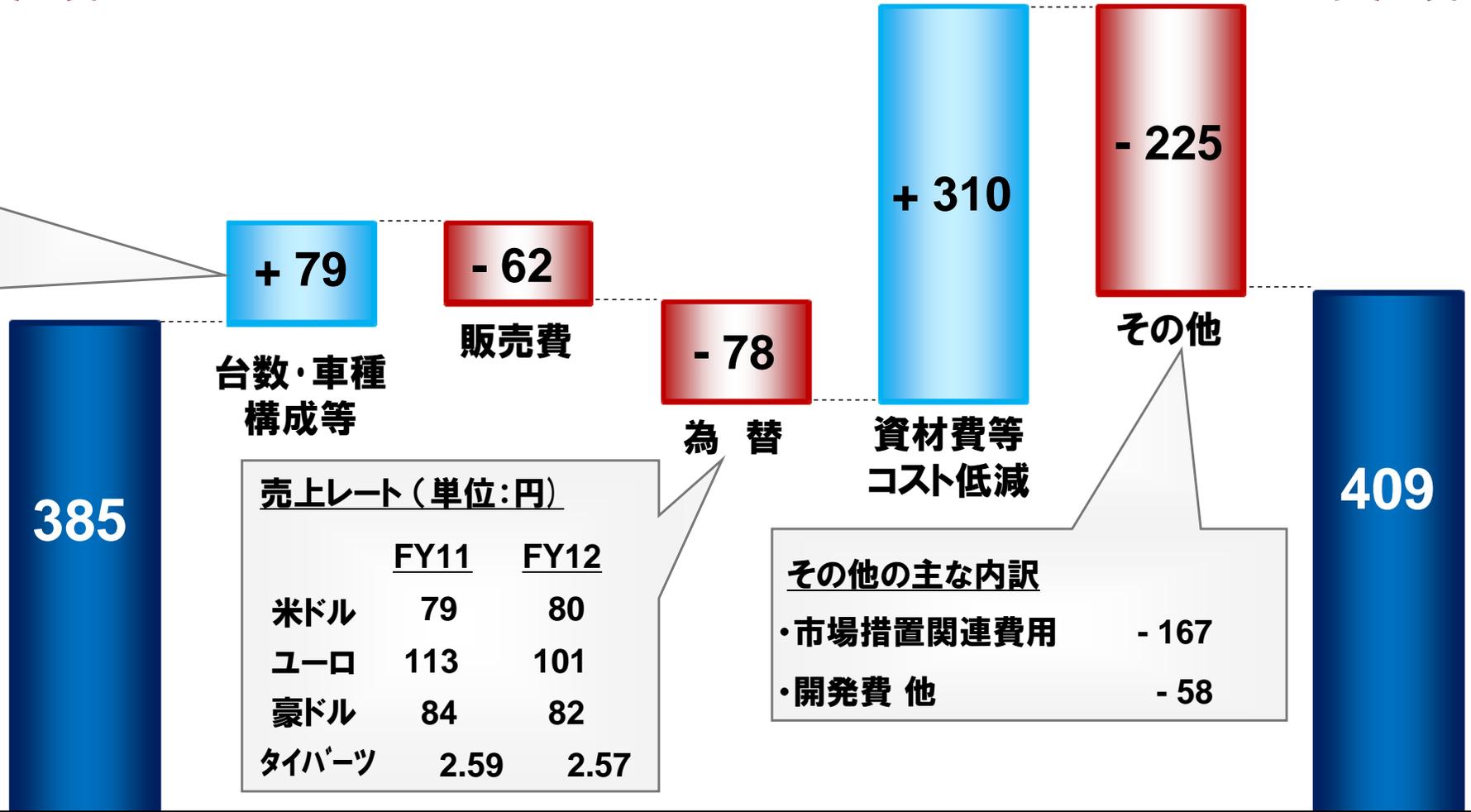
FY11 3Q
(‘11/4-12)
実績

+ 24億円

FY12 3Q
(‘12/4-12)
実績

地域別

日本:	- 66
北米:	+ 9
欧州:	- 21
アジア・その他:	+ 157



売上レート (単位:円)

	FY11	FY12
米ドル	79	80
ユーロ	113	101
豪ドル	84	82
タイバーツ	2.59	2.57

その他の主な内訳

・市場措置関連費用	- 167
・開発費 他	- 58

經常利益・当期利益【9ヶ月累計、前年同期対比】

(単位：億円)

	FY11 3Q (‘11/4-12) 実績①	FY12 3Q (‘12/4-12) 実績②	差 ② - ①
営業利益	385	409	+ 24
営業外損益	- 96	+ 115	+ 211
經常利益	289	524	+ 235
特別損益 及び法人税等	- 153	- 351	- 198
当期利益	136	173	+ 37

広汽長豊株式売却益
:+114億円

NedCar株式売却損
:-243億円

貸借対照表【前年度末対比】

(単位：億円)

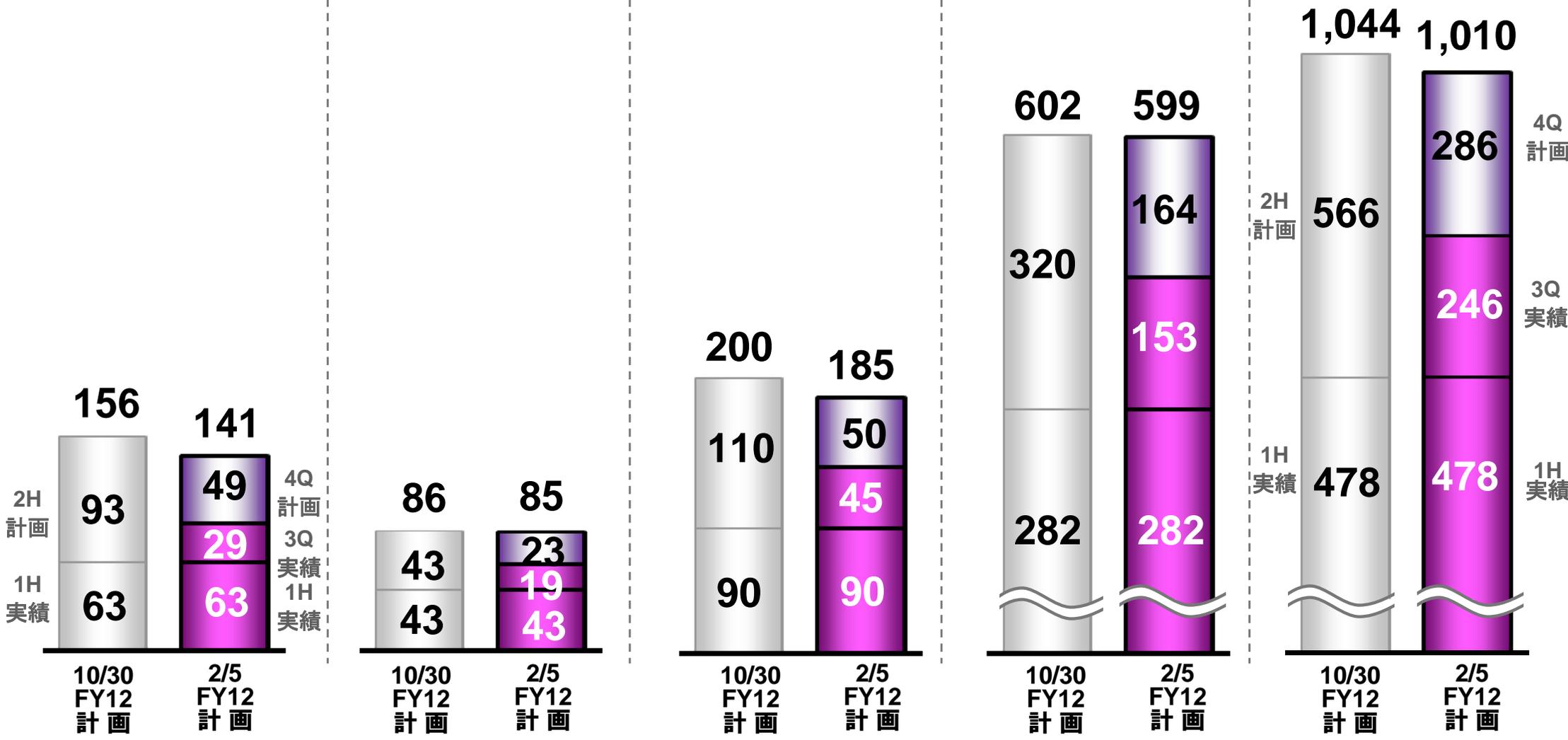
	FY11末 ('12/3月末)	FY12 3Q末 ('12/12月末)	増減
資産合計	13,213	13,024	- 189
うち 現金預金	3,116	3,040	- 76
売上債権	1,462	915	- 547
たな卸資産	1,875	2,318	+ 443
負債合計	10,557	10,023	- 534
うち 仕入債務	3,174	2,993	- 181
有利子負債	3,481	3,170	- 311
純資産合計	2,656	3,001	+ 345

2012年度通期業績見通し 地域別販売台数計画【10/30公表値対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
----	----	----	-----------	----

《10/30公表値対比増減》				
- 15 (- 9%)	- 1 (- 1%)	- 15 (- 8%)	- 3 (0%)	- 34 (- 3%)

(単位:千台、小売)



■ 2012年度第3四半期累計実績

**円高・欧州債務問題長期化など厳しい事業環境ながらも
コスト低減で打ち返し増益**

- 販売台数(小売) 724千台 前年同期比 4%減少
- 販売台数(卸売) 804千台 前年同期比 5%増加
- 売上高 12,826億円 前年同期比 1%減収
- 損益
 - 営業利益 409億円 前年同期比 6%、24億円増益
(為替の円高影響や販売費用の増加を資材費等コスト低減で打ち返し増益)
 - 経常利益 524億円 前年同期比 81%、235億円増益
 - 当期利益 173億円 前年同期比 27%、37億円増益

■ 2012年度通期見通し

**売上高、営業利益は卸売台数減少などにより計画を見直す
が、経常利益、当期利益は10月30日公表計画通り**

- 販売台数(小売) 1,010千台 前回公表比 3%減少
- 販売台数(卸売) 1,121千台 前回公表比 1%減少
- 売上高 18,100億円 前回公表比 1%減少
- 営業利益 640億円 前回公表比 20%、160億円減益
- 経常利益 620億円、当期利益 130億円 前回公表通り

添付資料



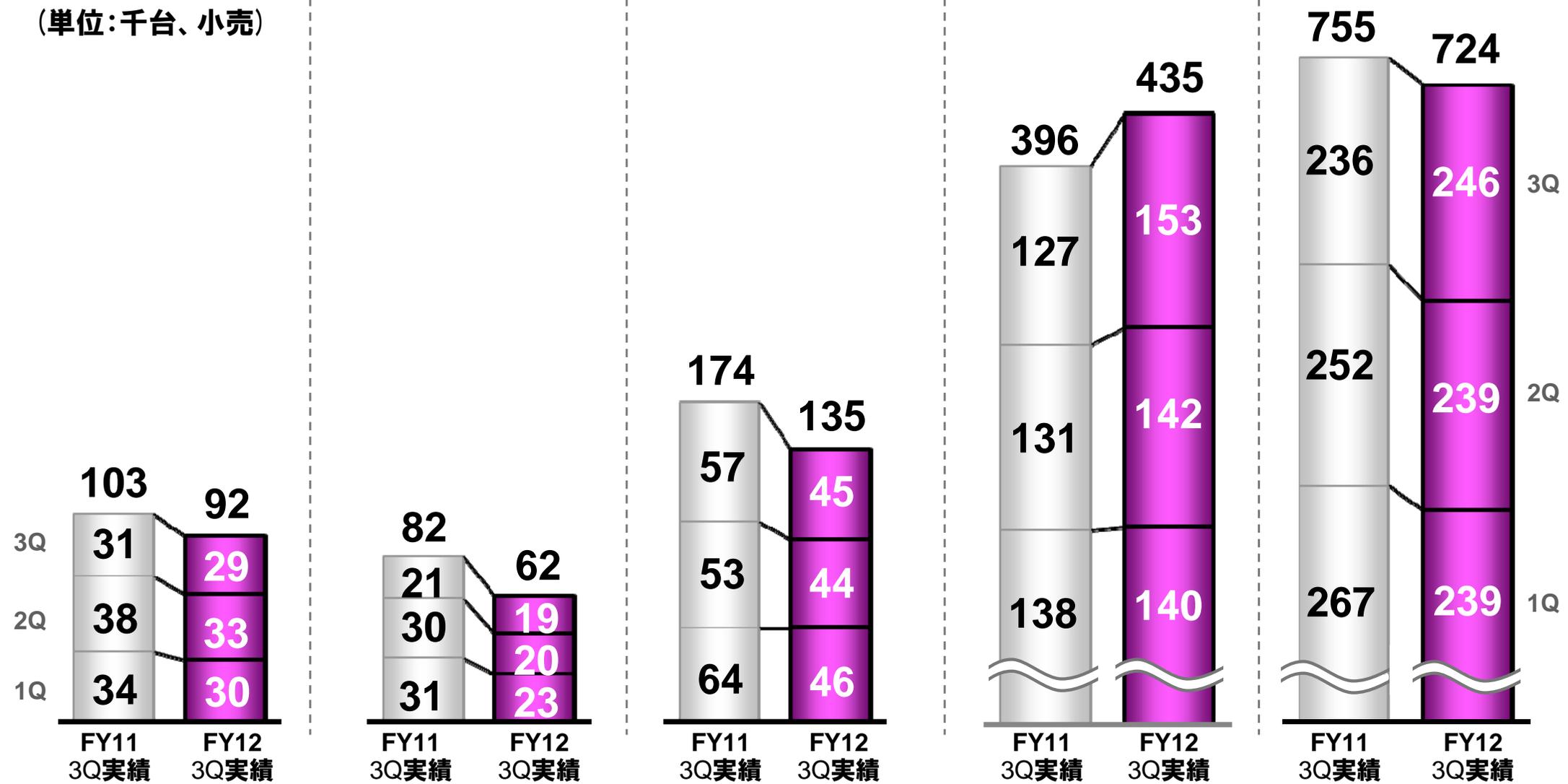
『デリカD:5』D-Premium

2012年度第3四半期 地域別販売台数実績【9ヵ月累計、前年同期対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
----	----	----	-----------	----

《前年同期対比増減》 - 11 (- 11%)	- 20 (- 24%)	- 39 (- 22%)	+ 39 (+ 10%)	- 31 (- 4%)
-------------------------------	-----------------	-----------------	-----------------	----------------

(単位:千台、小売)



※注) 12年度第3四半期販売台数実績は速報値。

2012年度第3四半期累計期間 四半期別業績サマリー

(単位：億円,千台)

	FY12 1Q ('12/4-6)	FY12 2Q ('12/7-9)	FY12 3Q ('12/10-12)	FY12 3Q ('12/4-12) 累計
売上高	4,193	4,407	4,226	12,826
営業利益	149	159	101	409
経常利益	142	174	208	524
当期利益	200	101	-128	173
販売台数 (小売)	239	239	246	724
販売台数 (卸売)	258	277	269	804
うち OEM台数等	(22)	(23)	(17)	(62)

※注) 12年度第3四半期販売台数実績は速報値。

(単位：億円)

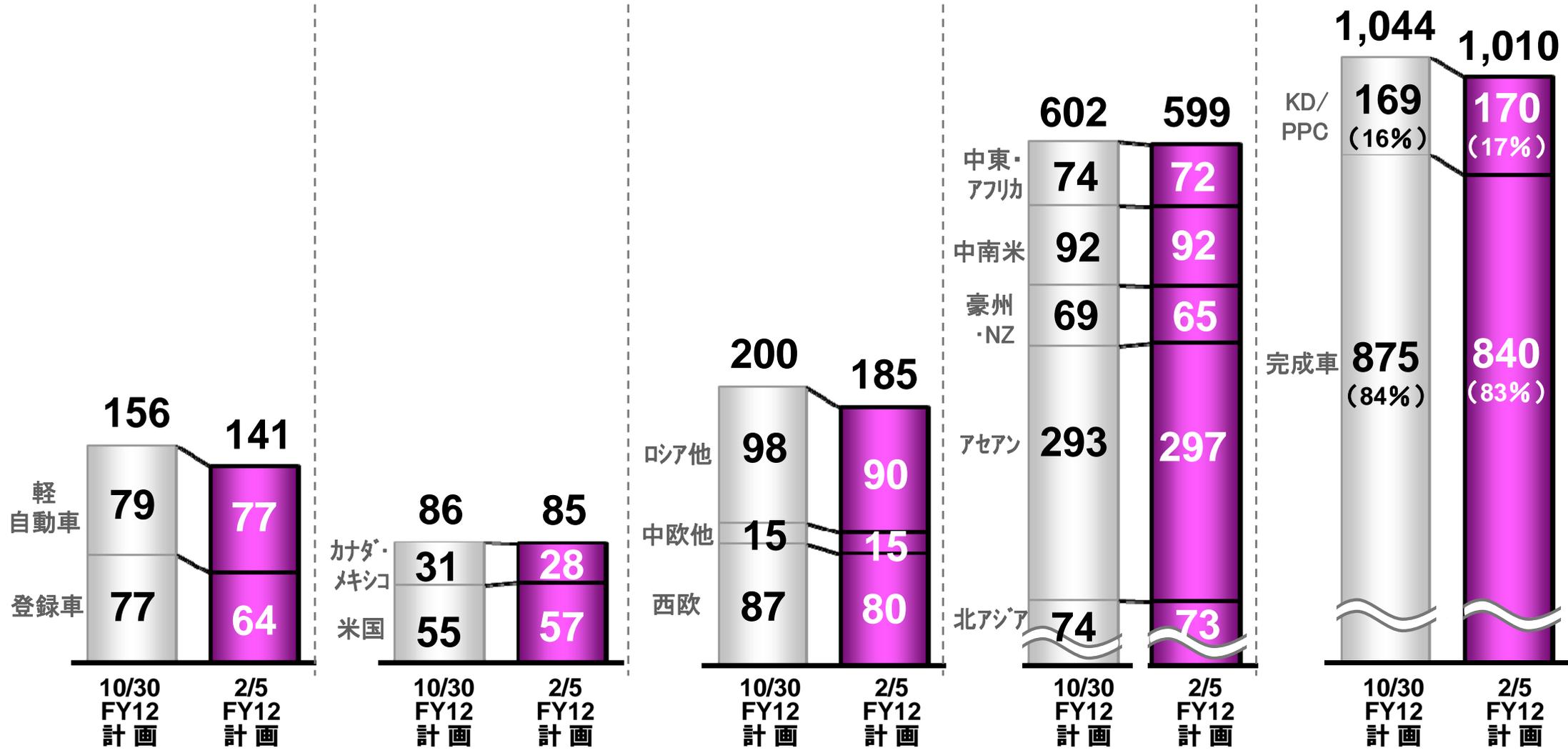
	FY11 3Q ('11/4-12) 実績 ①	FY12 3Q ('12/4-12) 実績 ②	増減 ②-①
売上高	12,931	12,826	-105
- 日本	2,510	2,257	-253
- 北米	1,418	1,124	-294
- 欧州	3,465	2,982	-483
- アジア・ その他地域	5,538	6,463	+925
営業利益	385	409	+24
- 日本	-20	-215	-195
- 北米	-209	-178	+31
- 欧州	-114	-125	-11
- アジア・ その他地域	728	927	+199

2012年度通期業績見通し 地域別販売台数計画【10/30公表値対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
----	----	----	-----------	----

《10/30公表値対比増減》				
- 15 (- 9%)	- 1 (- 1%)	- 15 (- 8%)	- 3 (0%)	- 34 (- 3%)

(単位:千台、小売)

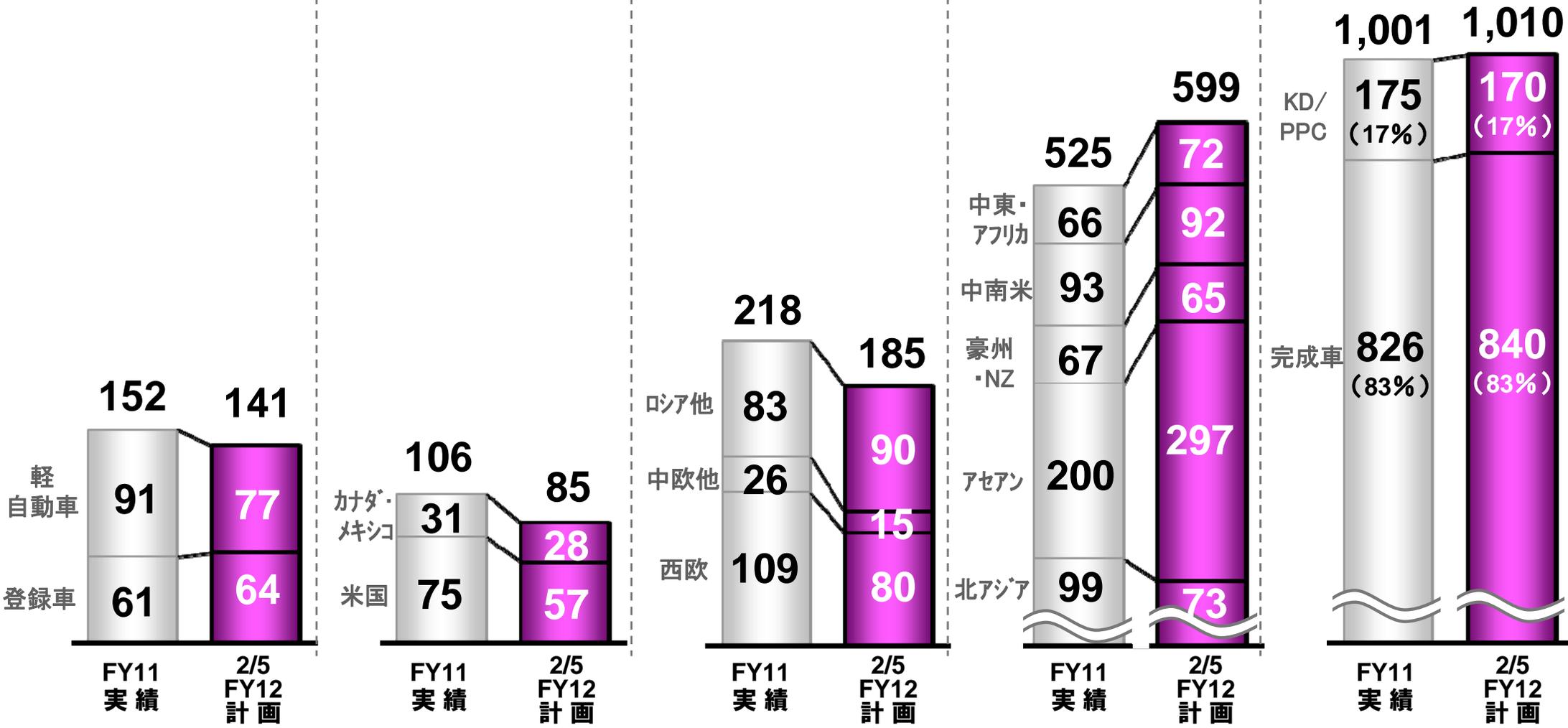


2012年度通期業績見通し 地域別販売台数計画【前年度対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
----	----	----	-----------	----

《前年度実績対比増減》				
- 11 (- 7%)	- 21 (- 20%)	- 33 (- 15%)	+ 74 (+ 14%)	+ 9 (+ 1%)

(単位:千台、小売)

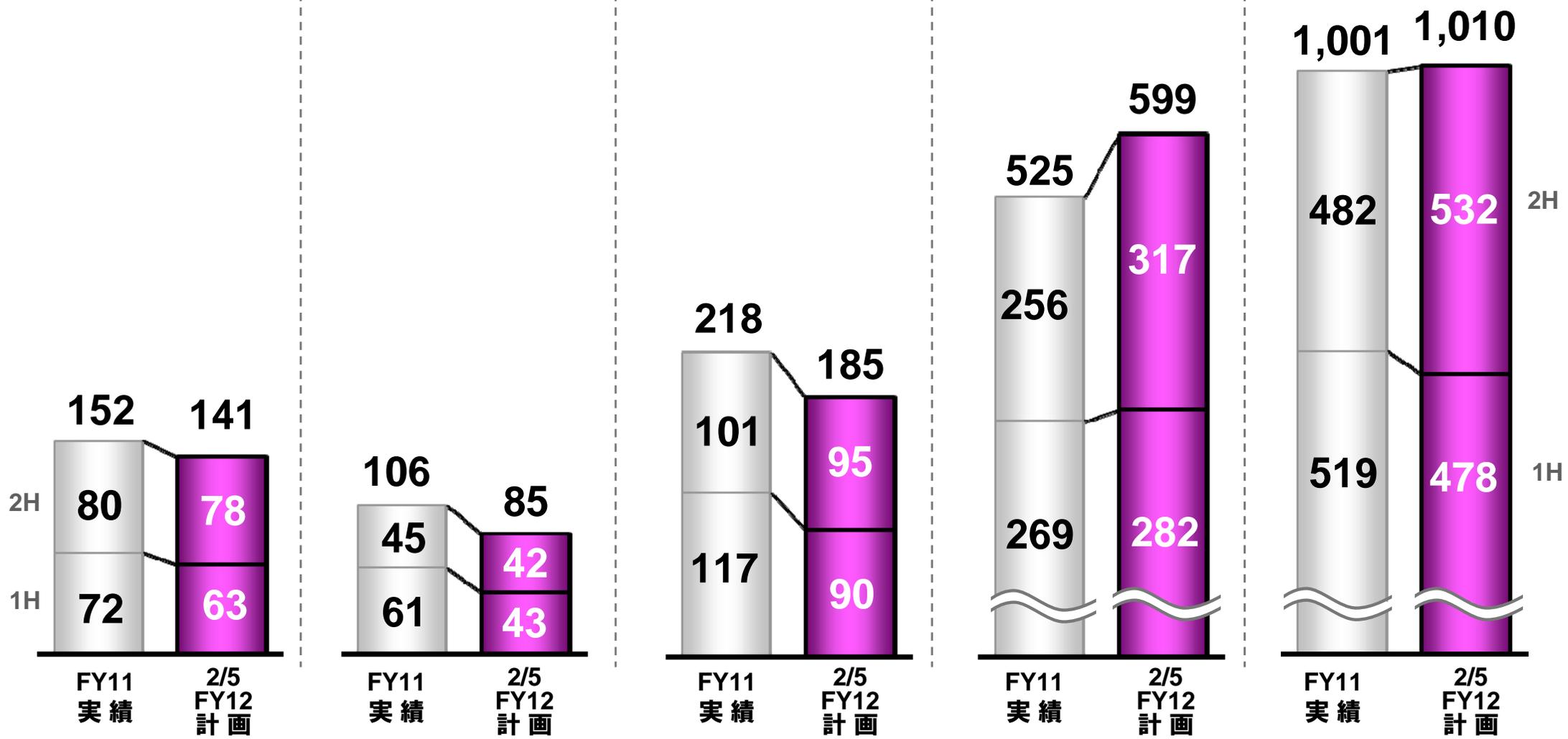


2012年度通期業績見通し 地域別販売台数計画【前年度対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
----	----	----	-----------	----

《前年度実績対比増減》				
- 11 (- 7%)	- 21 (- 20%)	- 33 (- 15%)	+ 74 (+ 14%)	+ 9 (+ 1%)

(単位:千台、小売)



2012年度地域別業績見通し【前年度実績・10/30公表値対比】

(単位：億円)

	FY11 実績	FY12 10/30公表値	FY12 2/5公表値
売上高	18,073	18,300	18,100
- 日本	3,571	3,600	3,500
- 北米	1,952	1,500	1,500
- 欧州	4,748	4,000	3,800
- アジア・ その他地域	7,802	9,200	9,300
営業利益	637	800	640
- 日本	68	-50	-190
- 北米	-262	-230	-210
- 欧州	-156	-260	-180
- アジア・ その他地域	987	1,340	1,220

2012年度営業利益見通し増減分析 【前年度対比】

(単位：億円)

FY11
実績



2/5
FY12
見通し

地域別

日本:	- 50
北米:	+ 20
欧州:	- 20
アジア・その他:	+ 210



台数・車種
構成等



販売費



為替



資材費等
コスト低減



その他



売上レート (単位:円)

	FY11	FY12
米ドル	79	81
ユーロ	111	104
豪ドル	83	84
タイバーツ	2.59	2.69

その他の主な内訳

・市場措置関連費用	-170
・開発費	-120
・間接員労務費 他	- 47

新型プラグインハイブリッドEV『アウトランダーPHEV』を発売

～三菱自動車のEV／4WD／SUV技術の集大成～

自分で発電する電気自動車

- 2013年1月24日(木)に発売 (日本)
- 日常は環境に優しいEV走行、遠出はモーター主体のハイブリッド走行
- 「ツインモーター4WD」による優れた走行性能
- 最大1500Wの電気が取り出せる「100V AC電源 (1500W)」や、エンジンで発電して停車中・走行中に充電できる「バッテリーチャージモード」など、大容量バッテリーによるユニークな機能



『アウトランダーPHEV』 G Premium Package

『デリカD:5』にミニバン初のクリーンディーゼルエンジン搭載車を設定

～ミニバンに求められる低燃費とSUVに求められる力強い走りを両立して発売～

- 2013年1月11日(金)に発売 (日本)
- エコカー減税(免税)及び平成24年度クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金(上限額14万円)の対象車
- JC08モード燃料消費率: 13.6km/L (2.0L MIVECエンジン搭載車(2WD)と同様)
- 最大トルク: 360N・m(36.7kg・m)/1,500～2,750rpm (2.4L MIVECエンジン搭載車(4WD)の約1.6倍)



『デリカD:5』D-Premium 4WD



2.2L コモンレール式DI-D クリーンディーゼルエンジン

軽トラックの電気自動車、『MINICAB-MiEV TRUCK』を新発売

～『i-MiEV』、『MINICAB-MiEV VAN』に続く、新世代電気自動車の第3弾～

- 2013年1月17日(木)に発売 (日本)
- エコカー減税(免税)及び平成24年度クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金(上限額46万円)の対象車
- 100%電気で走り、走行中にCO2などの排出ガスを発生しない“ゼロ・エミッション車”としての高い環境性能、貨物積載時でも力強く滑らかに走る動力性能、エンジンを搭載しない電気自動車ならではの静粛性、快適性、経済性
- ベース車軽トラック『ミニキャブトラック』と同等の積載性能(荷台スペース、積載量)



『MINICAB-MiEV TRUCK』

電動システム搭載車の展開拡大

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
日本	<ul style="list-style-type: none"> ・ フリート販売 09年7月～  <p>『i-MiEV』</p> <p>販売実績: 1.4千台</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般販売 10年4月～  <p>『MINICAB-MiEV』</p> <p>販売実績: 2.6千台</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「M」「G」の2グレード展開 11年7月～ <p>11年12月～ 軽商用電気自動車</p>  <p>『アウトランダーPHEV』</p> <p>販売実績: 5千台</p>	 <p>『MINICAB-MiEV TRUCK』</p> <p>13年1月～ 軽トラックEV</p> <p>13年1月～ PHEV</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 右ハンドル車 (香港、イギリス他) 09年秋～  <p>欧州向け『i-MiEV』</p> <p>販売実績: 0.2千台</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欧州 (左ハンドル市場含む)/PSAプジョー・シトロエン社向け 10年10月～ <p>販売実績: 5.6千台</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北米 11年11月～ <p>販売実績: 11千台</p>	 <p>北米向け『i-MiEV』</p>

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご留意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

Drive@earth



MITSUBISHI MOTORS